

日本と満州における厚生大会の演技種目に関する一考察

A study on the physical activity program in the recreation congress in Japan and Manchuria

都 筑 真

Makoto TSUZUKU

Abstract

The purpose of this study was to clarify difference and similarity of the recreation congress between Japan and Manchuria by identifying the characteristics of the physical activity program in the both congresses. The physical activity program in the Japan recreation congress changed according to the policy of the Health and Welfare Ministry to stimulate collective gymnastics. The physical activity program in the third Japan recreation congress consists of collective gymnastics and marches except group singing and consort. Collective physical exercises including collective gymnastics constitute the physical activity program in the East Asia recreation congress held in Manchuria. The Japan recreation congress is different to the East Asia recreation congress in terms of the affiliation of the participants in the physical activity program. The East Asia recreation congress is extremely similar to the third Japan recreation congress in that the physical activity program consists of collective physical exercises.

Keywords : *Japan recreation congress, East Asia recreation congress, collective physical exercises*

I. はじめに

厚生運動は1930年代後半から1940年代前半にかけて、日本厚生協会が中心となって展開したものである。戦時下の状況に余暇生活の健全化や健全娯楽の普及によって対応を試みたレクリエーション運動であるとともに、心身の鍛錬や体力の強化といった体位向上の性格を持ち、身体活動もその範疇に収めるものであった。

日本厚生協会の設立当初の目的は、東京オリンピックが開催される1940年に第4回世界レクリエーション会議を日本で開催することであったが、日中戦争の長期化により、オリンピックとともに同会議の日本開催も中止となった。こうして日本厚生協会の設立当初の目的は消滅したが、代わって同協会の最大の事業となったのは日本厚生大会の開催であった。第一回は東京（1938年）、第二回は名古屋（1939年）、興亜厚生大会と銘打たれた第三回は大阪（1940年）で開催された。各厚生大会の中心的な催し物となったのは、厚生運動の実施方法に関する発表・討議を行う「分科会」、身体活動が実施される「演技」であった。

1941年以降、太平洋戦争の影響を受けて日本厚生大会が実施されることはなかったが、1942年8月には日本の傀儡国家である満州国の奉天市において、東亜厚生大会が満州国民生部、協和会¹⁾、奉天市の主催で実施されている。1942年は満州国建国十周年にあたる年であり、建国十周年の慶祝行事として慶祝興亜国民動員全国大会、東亜競技大会、日満交驩武道大会、東亜操觚者大会などが満州国の各地で開催されており、東亜厚生大会もその一つであった。東亜厚生大会の模様を連日報じた『満州日日新聞』によれば、同大会には満州国からは402名、日本から94名、中華民国から31名、蒙疆から8名、泰国から3名が参加し、盟邦使節として駐満ドイツ公使代理のドイツ人1名も大会に招かれたという²⁾。ただし、この数字には、以下に示す演技種目の参加者は含まれていない。8月18日から20日までの日程で開催された大会では、厚生運動の実施方法について発表・討議する「分科会」、講演・映画・演劇・音楽などを披露する「厚生夕」、 「厚生運動大会」と銘打たれた「演技」などの催し物が実施された³⁾。

東亜厚生大会について言及した研究としては、藤野(2003)⁴⁾や加藤ら(2013)⁵⁾の研究が挙げられる。

藤野(2003)は、日本ファシズムの人的資源の培養・

日本女子体育大学（准教授）

動員政策の特異性を明らかにする中で、日本の厚生運動とともに満州の厚生運動にも着目し、東亜厚生大会の分科会の発表内容を紹介している。藤野によれば、分科会は「全体として、それまで日本国内で開催された厚生大会がそうであったように、各発表者がそれぞれの厚生運動に対する持論を発表するだけに終わり、満州における厚生運動として何を実施するかという具体性には欠けるものとなっていた」という。藤野の指摘からは、満州における厚生運動の統一の方針や具体的実施方法の欠如が見て取れる。

加藤ら（2013）は、戦時下日本の厚生運動の狙いを明らかにしていく中で東亜厚生大会にも着目し、「厚生運動ノ実践方策ニ付討議研究ヲ遂ゲ我が国厚生運動ノ発展促進ヲ図ルト共ニ東亞諸国ノ厚生運動ヲ愈々盛ニシテ各国民ノ勤勞力ヲ増強」させるという大会開催の趣旨とともに、大会の演技種目についても言及している。加藤らによれば、演技種目では自転車訓練や鉄道作業訓練といった軍事的な種目やシャベルを用いて演じられた奉仕団訓練といった産業を意識した種目が実施され、そして演技種目の大半が集団での体操や舞踊で占められていたという。しかしながら、こうした演技種目の構成に対して日本の厚生大会の影響が及んでいるのかについては明らかにされていない。

本研究では、日本厚生大会と東亜厚生大会における演技種目の特徴を抽出し、双方の相違点や類似点を明らかにすることによって満州に対する日本の厚生大会の影響について考察することを目的とする。

II. 日本と満州における厚生大会の演技種目の特徴

1. 日本厚生大会の演技種目の特徴

ここでは、日本厚生大会の実態を明らかにした都筑ら（2011）¹⁸⁾の研究を参照しながら、日本厚生大会の演技種目の特徴を明らかにしていく。

1-1. 第一回日本厚生大会の演技種目

第一回大会では演技の催しとして、「一般厚生の日」、「行進」、「婦人厚生の日」、「市民厚生軟式野球大会」、「市民厚生相撲大会」が実施されている。

一般厚生の日では、YMCA 体育部の「マットワーク」、小学校の女子児童による「縄跳び体操」、「各工場の男女工」による「産業体操」や「保健体操」、全日本体操連盟が推奨した団体によって「各種体操」行われ

た¹⁶⁾¹⁹⁾。

行進は、日比谷から宮城前を經由して靖国神社へと向かう形で実施されたが、参加団体については不明である¹⁰⁾。

婦人厚生の日では、東京市内の職業婦人を率いる団体の協力を得て「スポーツ、舞踏、合唱、合奏、詩吟、行進」が実施されたと日本厚生協会幹事であった磯村英一は自身の著書の中で述べているが、これらの詳細については明らかにしていない³⁾。

市民厚生軟式野球大会には予選を勝ち抜いた東京市35区の代表チームが出場し、代表チームがトーナメント形式で争った³⁾。

市民厚生相撲大会は、東京市35区対抗のトーナメント形式で、工場の部と青年の部の団体戦、個人戦がそれぞれ実施された¹⁾。

第一回大会の演技は、体操や行進、舞踊、野球や相撲など多様な種目に彩られたものであったといえる。

1-2. 第二回日本厚生大会の演技種目

第二回大会の演技の催しでは、「市民厚生大会」、「市民厚生競技大会」、「各区厚生大会」、「厚生の日」、「体育報国大行進」、「勤勞女子従業員市中大行進」が実施されている。

市民厚生大会では、表1に示したように、棒術の実演や音楽行進などとともに、8種の集団体操が約5000人の参加者によって実施されており、多種多様な集団体操が文部省、厚生省、全日本体操連盟などによって考案され、奨励されていく1930年代後半から40年代初頭までの時期の傾向を反映している。

市民厚生競技大会では排球、籠球、ラグビー、軟式庭球の試合や自転車競技が実施されている。排球の女子の部では名古屋専売局対日本毛織、男子の部では愛知時計対三菱の試合が行われ、籠球の試合は市役所と竹生会の間で行われた。自転車競技には一般市民が参加しているが、競技方法などは不明である。ラグビーの試合は、中京実業ラグビー界の重鎮三菱電機と大同製鋼の間で行われている。そして軟式庭球には官庁、会社、工場等から16組が参加し、ダブルスの試合を実施している¹¹⁾。

各区厚生大会では武道大会と運動会が催されている。武道大会には東、西、中村、中川、熱田、南の各区民が参加している。運動会としては、港区民運動会、昭和区御剣連区民運動会、そして千種区内山町民運動会がそれぞれ実施されている⁹⁾。しかし、武道大会と運

表 1 市民厚生大会の演技種目

種目名	参加者	参加者数
ラヂオ体操	男女市民	1000名
日本産業報国の歌体操	大東紡織株式会社女子従業員	500名
農民自衛武術「棒の手」	棒術会員	80名
家庭体操	南区国防婦人会員	600名
ラヂオ体操・建国体操	市吏員	500名
民謡体操・愛国行進曲・皇国の母	名古屋女子青年団	500名
音楽行進	日東紡績名古屋工場鼓笛隊	不明
工場鉱山体操	三菱重工業株式会社名古屋航空機製作所青年学校生徒	500名
大日本女子青年体操	日本毛織女子従業員	300名
大日本青年体操	愛知時計電機青年学校生徒	1000名

出典：日本厚生協会編（1940）厚生の日、1月号より作成

動会の内容は第二回大会の報告書や『厚生の日』に記されていない。

厚生のは夕は、表2に示したように、集団体操と武技を中心に構成されている。とりわけ、集団体操に関しては市民厚生大会で披露されたものも合わせると15種もの集団体操が実施されている。

表 2 厚生のは夕の演技種目

1. 体操	イ. 市民家庭体操 南区笠寺連区国防婦人会員 ロ. 民謡体操 露営の歌、私は南京支那娘 松坂屋 日の丸体操 日東紡績株式会社 日本産業の歌 大東紡績株式会社 第三師団進軍歌、愛国千人針 栄屋 ハ. 大日本国民体操 愛知時計電機株式会社
2. 舞踊並武技	イ. 詩武体操 金州城、進軍歌、落月、日本刀 日本毛織株式会社名古屋工場 ロ. 詩吟並剣武 篠田桜峰先生門下生 ハ. 棒術 竹槍、追込薙刀 弥富連区下山町 モギ、取換薙刀 弥富連区中根町 両刀、鎌術 鍋屋上野町連区 ニ. 柔道 投げの型 米田・谷口先生 ホ. 剣道 大日本剣道の型 浅井・森先生
3. おどり	イ. 軍国子守歌 ロ. ほんとにほんとに御苦労ね 松坂屋 ハ. 船頭可愛や
4. 音楽	イ. 吹奏楽（序曲、十字勲章）大同製鋼 ロ. 鼓笛隊（女子職場の歌、大陸行進曲）日東紡績 ハ. 吹奏楽（くろがねの力、陸軍分列行進曲） 大同製鋼、東邦電機、呉羽紡績、岡本工業
5. 合同合唱	愛国行進曲 来場者全部

出典：名古屋市編（1940）第二回日本厚生大会誌より作成

集団体操の増加は、1937年12月16日に文部次官から各地方長官宛に通牒された「国民精神総動員ニ際シ体育運動ノ実施ニ関スル件」と無関係でないと思われる。この通牒は、日中戦争の勃発後に国民精神総動員運動が展開される中で、身体活動のあり方を学校や関連団体に指示するものであった。この中では、「身心ノ修練」とともに「精神訓練」や「国民意識ヲ昂揚振作スルコト」が重視され、「団体訓練トシテ合同体操、体操大会、団体行進等ノ如ク、多人数ノ参加シ得ル集团的体育行事ノ実施ヲ奨励スルコト」や武道の奨励が謳われている²⁾。この通牒に呼応する形で厚生省は国民の体位向上政策の一環として、1939年に「大日本国民体操」、「大日本青年体操」、「大日本女子青年体操」の3種の集団体操を制定し、これらを中心として集団体操を各地で奨励した。市民厚生大会と厚生のは夕で多くの集団体操が実施されていることや、厚生のは夕が集団体操と武技を中心に構成されていることは、こうした動向に沿うものであった。

市民体育報国大行進には28の運動競技団体と武道団体から1万2000名が参加し、勤労女子従業員市中大行進には名古屋市内の商店や会社に勤める女子従業員3000名が参加した¹¹⁾。合計1万5000人を動員したこの2つの集団行進も、多くの集団体操が実施された市民厚生大会や厚生のは夕と同様に、上に示した文部省の通牒に沿うものであった。

1-3 興亜厚生大会の演技種目

興亜厚生大会の演技の催しでは、「奉祝学童体錬大会」、「甲子園厚生大運動会」、「市民厚生大行進」、「市

民厚生の夕」が実施された。

奉祝学童体錬大会には大阪市の学童1万人が参加し、表3に示した集団体操が実施されている。

甲子園厚生運動大会には、奉祝学童体錬大会を上回る青年男女2万人が参加した。この大会では、全関西吹奏楽団による演奏行進、参加者全員による合唱とともに、大阪市の工場・商店・百貨店等の男女青年労働者、男女中等学生、青年団員、市民体操指導者連盟員によって、表4のような集団体操が実施されている。

大阪市民厚生大行進には、大阪市の警察管内警防団、男子中等学校生徒、市民体操指導者連盟員など約8000名が参加し、全関西吹奏団連盟ブラスバンドを先頭に四列側面縦隊の大集団を編成して大阪市内を行進した¹²⁾。

市民厚生夕には大阪市内の会社と各小学校から男女600名が参加し、合奏、合唱、剣舞、連吟とともに、表5のような集団体操が披露されている。

表5 市民厚生夕の集団体操

体操名	演技者
相撲体操	大阪市本田精華小学校学童
産業歌体操	大阪高島屋
徒手体操転回運動	大阪市御津小学校学童
大日本国民体操	市民体操指導者代表(北区)
吟詠体操(暁の決死隊)	東洋紡績天満工場
日本晴(大阪市制定民謡体操)	宇治川産業報国会
タンプリング(人体建築)	伊藤万商店
紀元二千六百年奉祝体操	大日本紡績津守工場
興亜行進曲	鐘ヶ淵紡績淀川工場
錬成体操	日曜倶楽部
大日本女子青年体操	市民体操指導者代表(西淀川区)
日本の少女(女子保健体操)	大丸ゆかり会

出典：興亜厚生大会事務局編(1941)紀元二千六百年興亜厚生大会誌より作成

表3 奉祝学童体錬大会の集団体操

体操名	参加者
薙刀術基本体操	生魂、田邊、堂島小学校学童
相撲道基本体操	桃園、本田、精華、大寶、天下茶屋小学校学童
剣道基本体操	豊崎第一、阿部野、堂島、中本小学校学童
スタンド体操	参加者全員
行進遊戯	汎愛、北大江、御津、木川小学校学童
柔道基本体操	廣教、中之島、生魂、常盤小学校学童
大日本国民体操	不明

出典：日本厚生協会編(1940)厚生日本、11月号より作成

表4 甲子園厚生運動大会の集団体操

体操名	参加者
行進遊戯二千六百年	女子中等
ラヂオ体操	一般市民
産業体操・日本晴	女子工場員
国民体操・鉄の力	男子商店員
大阪市青年団体操	各区中堅隊員
スタンド体操	参加者全員
紀元二千六百年奉祝体操 婦人愛国の歌	百貨店女子店員
国民体操・作業体操	市民体操指導者
歓喜の黎明・産業日本の歌	男子工場員
集団体操	男子中等

出典：日本厚生協会編(1940)厚生日本、11月号より作成

興亜厚生大会の演技では、第一回、第二回大会で実施された競技種目は行われず、合唱や合奏を除くほぼ全てが集団体操と集団行進で構成され、参加者も万単位の規模になった。演技の催し全体が、上に示した文部省の通牒やそれと連動した厚生省の集団体操奨励政策により合致したものとなり、「多人数ノ参加シ得ル集团的体育行事」と化したのである。

2. 東亜厚生大会の演技種目の特徴

東亜厚生大会の演技は「厚生運動大会」と銘打って、大会二日目の1942年8月19日の午後1時から午後4時までの間、奉天市の国際運動場で実施された。『建国十周年慶祝東亜厚生大会記録誌』は、厚生運動大会の模様について以下のように記している：

定刻奉天二中、満鉄両ブラスバンドが吹奏する行進曲につれて、奉天省立男子中等学校協和青年団が入場行進を起し、正面スタンド前に整列を終れば、再び響き亘る喇叭の音に全員起立、羽生厚生運動大会部長の開会宣言があり、国歌斉唱裡に国旗を掲揚、次いで建国神廟遥拝、宮城遥拝、帝宮遥拝、黙祷の後、参加者全員による建国十周年慶祝歌斉唱に式を終り直ちに演技に移つた。

先ず奉天師道学校以下十四校の協和青年団合同一千名による建国杖に、青年満州の盛りあがる意気を示せば、純白の服に紅の建国十周年を慶祝す

る瑞雲十字章を胸に附した揃ひの姿で、職場女子青年団五百名が満州厚生運動の歌「明日の活力」を踊り、続いて在満国民学校一千名の体操、朝日高等女学校一千名の体育舞踊、協和会職場分会一千名の満州建国体操、満鉄社員八百名による満鉄社員体操、奉天第二国民高等学校、奉天第八国民高等学校百名による自転車訓練、奉天女子商業学校三百名の大日本女子青年体操、協和会職場分会一千名の満州産業体操、奉天市内女子国民高等学校一千名の舞踊「奉天市歌」更に奉天市第四国民高等学校五百名による奉仕団訓練は、赤銅色に陽灼けした半裸に明日の増産を象徴するシャベルを担つて演ずるはちきれるような訓練体操は、時代を担ふ国民の逞ましき健康美と建設力を示し、奉天第二中学校一千名の力強い大日本青年体操、協和義勇奉公隊愛路隊二百名によつて行はれた炎天下僅々四十分にして成就されたる破壊線路復旧作業の實際を示す鉄道作業訓練を最後に、雄健明朗三時間に亘る若人健康譜の幕を閉じた¹⁵⁾。

上の記述から見て取れるのは実施された演技種目、参加者の所属、参加者数である（表6参照）。

大会演技種目は、7種目の体操、3種目の舞踊、2種目の訓練、1種目の演武で構成されている。

集団体操のうち、在満国民学校体操と満鉄「社員会

体操」は名称から察するに、満州独自に考案されたものであろう。満州建国体操は1935年に満州国文教部が中心となって考案したものである。1939年には、建国体操を国民体操として全国民が実施することを求める文教部の訓令が出されるとともに、1940年には建国体操日として3月1日（建国記念日）、5月2日（皇帝訪日宣詔記念日）、9月18日（満州事変記念日）が指定されるなど、建国体操は満州全土への普及が企図されていた⁸⁾。産業体操は満州国民生部が1941年に産業従事者の体位向上と精神錬成を期して考案したものであり、第一体操と第二体操の二種から構成される建国体操に続く建国体操第三体操として、満州の全産業従事者への普及が目指されていた⁸⁾。大日本女子青年体操と大日本青年体操は、日本の厚生省が1939年に国定体操として制定したものであり、日本厚生大会の演技種目として実施されていた。このことから、日本厚生大会の東亜厚生大会への影響を垣間見ることができる。奉仕団訓練は、上記の引用文に「シャベルを担つて演ずるはちきれるような訓練体操」と記されていることから、訓練というよりは、シャベルを用いた訓練を模した体操と見做すことができる。

舞踊種目では、「満州厚生運動歌」、「奉天市歌」、「建国十周年慶祝歌」と満州独自に製作された歌に合わせた舞踊が演じられている。

訓練種目として実施された自転車訓練は、有事の際

表6 東亜厚生大会の演技種目

種目名	参加者	参加者数
建国杖	奉天省立男子中等学校協和青年団合同	1000名
体育舞踊「厚生運動歌」	職場女子青年団合同	500名
満州在満国民学校体操	在満国民学校協和少青年団合同	1000名
体育舞踊「建国十周年慶祝歌」	朝日高等女学協和女子青年団	1000名
満州建国体操	協和会職場分会合同	1000名
満鉄「社員会体操」	満鉄社員	800名
自転車訓練	第二、第八国民高等学校協和青年団	100名
大日本女子青年体操	女子商業学校協和女子青年団	300名
満州「産業体操」	協和会職場分会合同	1000名
舞踊「奉天市歌」	第一女子国民高等学校協和女子青年団	1000名
奉仕団訓練	第四国民高等学校協和青年団	500名
大日本青年体操	奉天第二中学校協和青年団	1000名
鉄道作業訓練	協和義勇奉公隊愛路隊	200名

出典：東亜厚生大会事務局編（1942）建国十周年慶祝東亜厚生大会記録誌より作成

の迅速な連絡を任務とする協和義勇奉公隊の自転車隊が主に行っていた訓練であるが、東亜厚生大会では協和青年団が実施していることから、自転車訓練が協和青年団の活動にも導入されていたことが見て取れる。もう一つの訓練種目である鉄道作業訓練は、鉄道の愛護を目的とする協和義勇奉公隊愛路隊が日常の訓練として実施しているものであった⁹⁾。

演武として実施された「建国杖」は長さ4尺2寸1分、直径8分の檜の木で作られた杖を武器として用いる日本の杖術のことであり、協和会青年団では日本からも指導者招くほど実施を奨励していた⁹⁾。

以上の演技種目に関しては集団体操が種目の半数以上を占めていること、そしていずれの種目も100～1000名が参加する集団的身体活動であったことが特徴として挙げられる。満州国の特命全権大使であった王充卿は、厚生運動に関する満州国の施策として「保健衛生」「生活改善」「体力増強」を挙げており、この内の「体力増強」に関しては「集団的肉体鍛錬、武道及運動競技を奨励している。特に集団的な鍛錬の機会を多くし体力の増強を図ると同時に併せて秩序を重んじ規律を尚ぶ士気の振作昂揚」を図っていると述べている¹⁰⁾。こうした満州国の方針に、東亜厚生大会の演技種目の構成は沿ったものであったといえよう。

また、演技種目の参加者は、満鉄社員を除けば、協和会の職場分会、青年団、義勇奉公隊に所属する男女で占められており、満州国の厚生運動は協和会によって推進されていたことが見て取れる。とりわけ協和会青年団の演技が13種目中9種目を占めていたことから、青年団が厚生運動における身体活動の実践主体者であったと考えられる。

3. 演技種目から見た満州と日本の厚生大会の相違・類似点

演技種目から見て取れる日本と満州の厚生大会の相違点として、種目の有無と参加者の所属が挙げられる。日本の各厚生大会では行進が実施されたのに対し、東亜厚生大会では実施されていない。また、日本の各厚生大会における演技種目の参加者の所属は、学校、工場、商店、青年団、産業報国会など多様であったのに対し、東亜厚生大会における演技種目の参加者は、協和会に所属する男女でほぼ占められている。第一回日本厚生大会が開催された1938年から興亜厚生大会が開催された1940年までの日本には、様々な所属の者を束ねる満州の協和会のような組織が存在しなかったこと

が、参加者の所属に関する差異を生んだと考えられる。

日本の厚生大会、とりわけ興亜厚生大会と、東亜厚生大会の類似点としては、演技種目の全体的構成、演技の催しの規模が挙げられる。興亜厚生大会ではほぼ全ての演技種目が、そして東亜厚生大会では全ての演技種目が集団的身体活動で構成されている。両大会とも演技種目に占める集団体操の割合は高く、興亜厚生大会の演技種目の大半が集団体操で構成され、東亜厚生大会でも半分以上の演技種目が集団体操で構成されていた。また、演技の催しの規模も両大会ともに大きいものであった。興亜厚生大会の演技参加者は約4万人にのぼった。東亜厚生大会の演技参加者数は興亜厚生大会には及ばないものの、「厚生運動大会」の催しのみで1万人に迫る参加者を動員したのであった。

III. おわりに

本研究の目的は、日本厚生大会と東亜厚生大会における演技種目の特徴を抽出し、双方の相違点や類似点を明らかにすることによって満州に対する日本の厚生大会の影響について考察することであった。

日本厚生大会の演技種目は、国民精神総動員運動下で出された文部省の通牒や、それに対応する形で展開された厚生省の集団体操奨励政策により合致したものに变化していった。満州での大会の2年前に開催された興亜厚生大会の演技は、合唱や合奏を除くほぼ全てが集団体操と集団行進で構成され、参加者は約4万人に及ぶ「多人数ノ参加シ得ル集団的体育行事」と化した。

一方、東亜厚生大会で実施された演技は、7種目の集団体操、3種目の集団舞踊、2種目の集団訓練、1種目の演武で構成され、約1万人が参加した。体操、訓練、舞踊、演武の集団的身体活動で彩られた東亜厚生大会の演技種目の構成は、「集団的な鍛錬の機会を多くし体力の増強を図ると同時に併せて秩序を重んじ規律を尚ぶ士気の振作昂揚」を謳う満州国の厚生運動の方針に沿ったものであった。

行進の有無、参加者の所属などが日本と満州の厚生大会の相違点として挙げられるものの、興亜厚生大会時に大会役員を務めていた深山杲が「凡ゆる行事に、至る処大阪〔での興亜厚生〕大会の余香が漂い」¹¹⁾と東亜厚生大会の印象を語ったように、多人数で実施する集団的身体活動で演技種目が構成された点において両大会は酷似しており、満州に対する日本の厚生大会の

影響が見て取れる。

注

(1) 協和会は1932年に王道政治の宣化を目的として結成された。結成当初は五族協和を提唱し、各民族の民意を汲み出すことを目指していたが、徐々に上意下達機関の色彩を濃厚にし、政府と表裏一体の組織となっていた。協和会は首都新京に中央本部を置き、中央本部の下に省本部、県本部、旗本部、支部を設置し、各支部が分会や班を組織した。日中戦争勃発後は総動員体制の推進に中心的な役割を果たし、傘下の団体である協和青少年団や協和義勇奉公隊が勤労奉仕や警護訓練などに従事した。

引用文献

- 1) 藤野豊 (2003) 厚生省の誕生 医療はファシズムをいかに推進したか。かもがわ出版, 京都。
- 2) 浜田義明編 (1939) 学校体育運動に関する法令並に通牒。目黒書店, 東京。
- 3) 磯村英一 (1939) 厚生運動概説。常盤書房, 東京。
- 4) 加藤秀治, 澤村博 (2013) 日本厚生大会にみる厚生運動の実態, レジャー・レクリエーション研究 71: 31-38。
- 5) 興亜厚生大会事務局編 (1941) 紀元二千六百年興亜厚生大会誌。興亜厚生大会事務局, 大阪。
- 6) 満州国史編纂刊行会編 (1971) 満州国史 各論。満蒙同胞援護会, 東京。
- 7) 満州日日新聞 (1942) 1942年 8月19日付夕刊1面。
- 8) 満州帝国政府編 (1969) 満州国建国十年史。原書房, 東京。
- 9) 名古屋市編 (1940) 第二回日本厚生大会会誌。名古屋市, 名古屋。
- 10) 日本厚生協会編 (1939) 第一回日本厚生大会報告書。日本厚生協会, 東京。
- 11) 日本厚生協会編 (1940) 厚生の日。1月号, p.86-88。
- 12) 日本厚生協会編 (1940) 厚生の日。11月号, p.172。
- 13) 日本厚生協会編 (1942) 厚生の日。10月号, p.64-66。
- 14) 日本厚生協会編 (1943) 厚生の日。8月号, p. 21-26。
- 15) 東亜厚生大会事務局編 (1942) 建国十周年慶祝東亜厚生大会記録誌。東亜厚生大会事務局, 新京。
- 16) 東京朝日新聞 (1938) 11月2日付11面。
- 17) 東京朝日新聞 (1938) 11月7日付8面。
- 18) 都筑真, 浅野哲也, 村井友樹ほか (2011) 戦時下における日本の厚生運動—厚生大会 (1938-1940) を中心として—, 筑波大学体育科学系紀要 34: 27-43。
- 19) 読売新聞 (1938) 11月2日付夕刊2面。

(平成29年11月27日受付)
(平成29年12月20日受理)

